

- 1 日時 令和7年11月〇日(〇) 第〇校時
2 学年 第1学年〇組
3 単元名 「きせつとなかよし あき」 内容(5)(6)
4 単元について

単元の目標

秋の自然を観察したり遊んだりする活動を通して、秋と他の季節の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ、自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

目指す子供の姿

- 学校や公園の秋の自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。
- 秋の特徴や他の季節との違いを見付け、遊びや遊びに使うものを工夫してつくっている。
- 秋を生活に取り入れ、生活を楽しくしようとしたり、みんなと遊びを創り出そうとしたりしている。

現在の子供の姿

「きせつとなかよし はる・なつ」の学習では、公園や校内の自然を観察したり、それらを生かして遊んだりしてきた。春には、なかよしふれあい広場や観察池のメダカやエビ、バッタなどを観察したり、公園に行くと自然と触れ合ったりした。夏には、アサガオでこすり染めをしたり、砂遊びをしたりして季節を楽しむ活動を行った。「夏になったら、花がなくなって、葉っぱがたくさんになったよ」、「春と冬の違いを見てみたい」などと季節や生活の変化を楽しみにしている児童もいた。

季節の遊びを一緒に楽しむために、夏休み前に幼稚園や保育園の園児たちと初めての交流会を行った。初めは緊張で自分から話しかけることができなかつた児童もいたが、遊びを通して自分の名前を伝えたり園児の名前や好きなものを聞いたりするなど積極的に関わろうとする姿が見られた。交流後の振り返りでは、「楽しかった」「名前が知れて嬉しい」など、交流を楽しんでいる児童が多かつた。また、今後の交流では園児と一緒に楽しめるような遊びを考えるなど、自分の楽しさを大切にしながらも園児も楽しめるように相手を意識して関わろうとする姿も見られるようになってきている。

単元の価値

本単元は、身近な自然を観察したり、それらを使って遊んだりする活動を通して、秋に見ることができ葉や実の特徴、秋の自然物を使って遊ぶ面白さに気づき、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができる単元である。〇〇小学校には、なかよしふれあい広場や校庭に多くの種類の植物がある。それらを観察したり、その中で遊んだりすることで、諸感覚を使って秋を感じ、秋の楽しさに気付くことができる。そして、その中で生まれたたくさんの気づきを、言葉や絵、身体表現など、様々な方法で表す。

また、幼稚園や保育園の園児たちと、秋の自然を使った遊びを行うことで、相手を意識しながら遊びを工夫することができる。一緒に遊ぶ中で、園の子供たちが楽しむ姿を見て満足感を得たり、単元を振り返ることで、自分自身の成長や変容に気付いたりすることができる。

働きかけ・環境設定

今回の「きせつとなかよし あき」では、身近な秋を観察したり、それらで遊んだりする中での児童の気付きや思い、願いをもとに単元を展開していく。単元の導入では、春や夏に観察したものや遊んだことを観察カードや写真で振り返ることを通して、秋はどのように変わったか予想し、夏から秋の変容に疑問や関心をもてるようにする。そして、校内の自然を観察したり、それらを使って遊んだりするなど、繰り返し秋と関わっていく活動を行う。観察する際には、目・手・鼻など諸感覚を用いて気付きを深める。遊びや遊びに使うものをつくる際には、みんなで決まったものをつくるのではなく、児童の「～してみたい」という思いやアイデアを中心に活動を進められるようにする。

単元の終わりには、幼稚園や保育園の園児たちを招待して、一緒に秋で遊ぶ活動を行う。園児に喜んでもらうために、相手意識や思いをもって遊びを工夫できるようにしたい。相手意識をもてるように、夏休み前から交流を行い、年間を通して本学級の児童と園児のペアやグループを組んで、活動を行う。活動の足跡として、これまでの園児との交流を振り返ることができるようなワークシートをファイルに蓄積し、その記録をもとに、園児一人ひとりのことを思い出しながら自分達で作るおもちゃを見直したり、より楽しんでもらえるように改良したりすることを通して、相手意識をもって活動に取り組めるようにしたい。

つながる学び

- 【国語科】「しらせたいな、見せたいな」では、対象をより詳しく観察して的確な言葉で表し、語や文同士の繋がりに気をつけて文章にする学習を行った。この学習を生かして、諸感覚を使って秋を観察し、様子を伝えるためふさわしい言葉を選びながら書いたり伝えたりすることができるようにする。
- 【図画工作科】見つけた秋を使ってリースなどをつくり、秋の楽しさを感じることができるようになる。
- 【学級活動】お楽しみ会の計画では、会の目的や係を話し合いながら、計画的に取り組んだ。この学習を生かして、園児に楽しんでもらうことを目的としたおもちゃランドを計画、実施することで相手の気持ちを考えながら活動を作り上げることができるようにする。
- 【スタートカリキュラム】保育園や幼稚園での遊びや生活を土台に、自然物を使った遊びやものづくりを通して、安心して活動に取り組めるようにする。友達と関わりながら活動を楽しむ中で、人との関わりや学びへの意欲を育むようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 学校や公園の秋の自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことができる。	○ 秋の特徴や他の季節との違いを見付けたり、遊びや遊びに使うものを工夫してつくったりしている。	○ 秋を生活に取り入れ、生活を楽しくしようとしたり、みんなと遊びを創り出そうとしたりしている。
① 秋の特徴や季節ごとの変化、季節によって生活が変化していることに気付いている。 ② 秋の自然を生かした遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや不思議さに気付いている。 ③ 約束やルールが大切なことや、それを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。 ④ 自分たちが秋を楽しむことができたことや、園児を楽しませることができたことが分かり、自分自身の成長に気付いている。	① 秋の自然について春や夏と比較しながら、違いや特徴を見付けている。 ② 比べたり、例えたり、試したり、見通しをもったりしながら、遊びや遊びに使うものを工夫している。 ③ 園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を試しながら考え、伝え合っている。 ④ おもちゃを改善したり、遊びの約束やルールなどを工夫したりしている。 ⑤ 身近な自然から見付けた秋を使って、遊びを工夫したり友達や園児と楽しく遊んだりしたことを振り返り、表現したり伝え合ったりしている。	① 身近にある秋を探し、校庭や公園の秋の自然と触れ合おうとしている。 ② みんなで楽しく遊ぶために遊びの工夫を伝え合い、遊びをよりよくしようとしている。 ③ おもちゃの楽しさを伝えたいという思いをもち、すすんで園児と交流しようとしている。

6 指導と評価の計画（全22時間）



小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
あきを みつけ にいこう (5 h)	<ul style="list-style-type: none"> 春や夏の様子を思い出し、秋はどのようなになっているか予想する。 校庭や公園の秋を探しに探検に行く。 見付けた秋を紹介する。 	①	①	①	行動 発言 ワークシート
みつけた あき で あそぼう (7 h)	<ul style="list-style-type: none"> 見付けた秋でどんなことをしてみたいか考える。 おもちゃを作ったり工作をしたりして秋の遊びを楽しむ。 	②	②	②	行動 発言 ワークシート
あきの おたの しみランドを ひらこう (本時2/8h)	<ul style="list-style-type: none"> 「おたのしみランド」の計画を立てる。 園児と一緒に楽しめる遊びの工夫を話し合う。 遊ぶものを作ったり、改良したりしながら「おたのしみランド」に向けての準備をする。 園児を招待して、「おたのしみランド」を開く。 	③	③ ④	② ③	行動 発言 ワークシート
あきを ふりか えろう (2 h)	<ul style="list-style-type: none"> 秋を見付けたことや、秋で遊んだことを振り返って感じたことや考えたことを伝え合う。 	④	⑤		行動 発言 ワークシート

7 本時の目標

園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を試しながら考え、伝え合うことができる。

【思考・判断・表現③】

8 本時の学習展開

	学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
事前	0 次時に向けての問いを立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どのように あそべば えんじさんと いっしょに たのしめるかな？ </div>	○ 授業の終わりに子供の言葉を使って次時の問いを立てる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 本時の見どころ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ★事前学習による自分の思い・願いの確認。 </div>
本時	1 これまでの活動を振り返る。	○ これまでの園児との交流がいつでも振り返ることができるように活動の足跡を掲示する。
	2 問いを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どのように あそべば えんじさんと いっしょに たのしめるかな？ </div>	
	3 これまでに作ったおもちゃや工作で遊んでみながら、別グループの良いところや改善点を見つけて付箋に書く。	○ 前時までに考えた「一緒に楽しめる」のキーワードを全員で共有し、視点をもって考えられるようにする。 ○ 付箋を使うことで友達に遊んでもらった感想をもとに、自分たちでは気付かなかったおもしろさや改善点に気付けるようにする。
	4 もらった付箋をもとに、グループでどのように遊べば園児と一緒に楽しめるか話し合う。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> けんだまが全然入らなかったよ。 輪投げを投げる位置が近くて簡単すぎたよ。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; font-size: small;"> タイムを計ったら競争ができて楽しそうだと思うよ。 </div>	○ 児童の思いや願いを大切にしつつ、「一緒に楽しめる」という視点に立ち返ることができるように問い返したり、なぜそのような工夫をするのか、その時の園児の気持ちはどうかなど、切り返し発問をしたりすることで児童の思いや考えを深められるようにする。 ○ いいねカードや質問カードを用いることで、発表者が自分の工夫を自信をもって伝え、聞き手が友達のよさを伝えたり、疑問をもって関わったりできるようにする。
	5 全体で園児さんたちと一緒に楽しむための工夫や遊び方を共有する。 <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> けんだまが全然入らなかったと言われたからひもを短くしようと思うよ。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; font-size: small;"> 輪投げを投げる位置が近くて簡単だったと言われたので、自分で投げる位置を選べるようにしたよ。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 本時の見どころ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ★意見交流による思考の深まり。 </div>
	5 振り返りをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 輪投げの位置が近くて簡単すぎると言われたから投げる位置を自分で選べるようにしようと思います。次は、○○グループの遊び方も試してみながら考えたことを直してみたいです。 </div>	
6 次時の学習を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○○ランドをひらくために どんなじゅんぴをしたらいいかな？ </div>	○ 次時への見通しがもてるように児童の思いや願いから活動を考えるようにする。	

事後	7 ○○ランドに向けて、準備することを個人で考えてくる。	○ 自分たちで○○ランドを作り上げていけるように、児童の思考を価値付ける。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">本時の見どころ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">★次時の学習を考える場面。</div>

8—1 板書計画

とい どのように あそべば えんじさんと いっしょに たのしめるかな？

どんぐりごま
 →タイムをはかる
 きょうそう
 →こまをぶつけあう
 しょうぶ

けんだま
 ひもの ながさを かえる
 →チャレンジできる

たからさがし
 →たからに とくてん
 さがすのがたのしい！

どんぐりコロコロ
 →おとしあなをつくる
 かんたんすぎた レベルアップ！

とい ○○ランドをひらくために どんなじゅんぴをしたらいいかな？

9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
【思考・判断・表現③】 園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を試しながら考え、伝え合っている。 (発言・行動・ワークシート)	○ 園児と一緒に楽しめるような遊びの工夫を考え、伝えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「どんぐりごま」は、誰が一番長く回せるかタイムを計ったら楽しそうだね。こまをぶつけ合う遊びは一人ではなく、一緒に対戦できて盛り上がりそう。 ・ 「たからさがし」は、宝に得点を付けたり、タイムを計ったりするとおもしろそうだね。 ・ 「どんぐりコロコロ」は、落とし穴の数を増やしたり減らしたりすると自分たちも園児さんも楽しめそう。

10 本時の見どころ

- ・ 園児を楽しませるというだけではなく自分たちも一緒に楽しもうという思いをもって、遊びの工夫についてアイデアを出し合っている姿。